

道

2024・4・10

通信 No 1777



ミ
モ
ザ

本番まで 水曜日練習 残り 6回 Doit 本番は 4月 29 日(月)

本日の練習 6時 30分～ 岡野中 3部 小坂先生 二宮先生

※同日 3時～ 企画選曲委員会 於 県民サポートセンター

「カチューシャ」についてご意見がありましたので企画選曲委員会で検討したいと思います。最終的には先生方とご相談の上、運営委員会で決めていきたいと思ひます。ご協力お願いいたします。

プログラムに掲載予定の原稿です(その2)。何かありましたらお知らせください。

ロシア民謡メドレー(続き)

～ 一週間(ロシア民謡, 楽団カチューシャ訳詞, 中山英雄 編曲)軽快なメロディと替え歌で, CMにもよく使われている。元の歌詞の直訳は「… 金曜日は糸巻きはせずに 土曜日は皆で故人への良き想いを語り合う 私の愛しいエメリカよ こんな風に私は一週間働き続けたの」となる。とくに土曜日は日本語の訳詞 ♪おしゃべりばかり… と印象が変わるかもしれない。

バイカル湖のほとり

♪黄金を秘めるザバイカルの… 「ザ」は「向こうの」という意味で, 当然モスクワからみた向こうはシベリア。ザバイカル地方には金鉱もあって, 政治犯を含む囚人が労働にあたっていたようだ。いったんバイカル湖を越せば帰ることはできず, 逆に渡り切れれば解放される。この曲では, 政治犯が脱獄してバイカル湖を渡り切ったつつかしい母や妻子と会う, しかし父は亡くなり, 兄はシベリア送りというドラマチックな構成になっている。合唱団「道」のロシア公演では涙する高齢者も多いた。

広きドニエプルの嵐

ドニエプル川は北ロシアのヴァルダイ丘陵に源流を発し, ベラルーシ, ウクライナを南下して黒海に流れ込む, 総延長 2285km の大河。この歌曲は, ウクライナの「国民詩人」シェフチェンコの詩に, クリャニウスキイが作曲。ウクライナでは国歌に準

準ずるものと位置づけられている。今, ロシアによってもたらされた嵐(戦争)によって, まさに ♪波間に小舟ゆれて 浮き沈む… ウクライナに一日も早い平和が戻るよう願わずにはいられない。

赤いサラファン

一般的には「ロシア民謡」と言われているが, 1833 年にフルラーモフによって作られた曲。「サラファン」というのはロシアの農村部で女性がよく着用していた民族衣装のこと。結婚衣装の赤いサラファンを縫う母と, まだ早いと嫌がる娘との会話になっている。娘の成長を見守りながら ♪年老いたとて楽しいわ… と, 自身の気持ちも若返る。より原詩にちかい大胡敏夫訳詞で演奏する。

せわしき流れの河

ふるさとを離れ, 川岸に佇む若者は, 心と目を凝らすとさざ波や小さな渦を巻きながらも大河はゆっくりと海を目指す。不安と希望が交錯するこれからの人生を思い, 懐かしい緑の牧場を見やる。

美わし春の花よ

ロシアの春の訪れは 5 月頃。青空の下, 一斉に咲き乱れる美しい花々, それよりも美しいと恋人をたたえる。第 2 次大戦終結の 1 年後, 1947 年の作品。ブランテルの「りんごの花が咲く頃」とともに日本でもよく歌われている。戦争から解放された喜び, 春を迎えた喜び, 愛の喜び, 三重の喜びを歌う。